

簡単検査で早期発見!

猫白血病ウイルス (FeLV) 感染症と猫免疫不全ウイルス (FIV) 感染症は、猫ちゃんにとって恐ろしい病気です。安心のために、定期的に検査を受けましょう。



SNAP[®]

FeLV/FIV Combo

動物用医薬品

猫白血病ウイルス抗原／猫免疫不全ウイルス抗体同時検査用キット
スナップ・FeLV/FIVコンボ

検査による早期発見が
何よりも重要です。

感染しているかは 検査によってわかります。

動物病院で獣医師の先生が猫の病歴と症状を診て必要であれば血液検査をします。スナップ・FeLV/FIVコンボでは、少量の血液サンプルを用いてわずか10分で検査することができます。



感染した場合、 飼い主にできること。

FeLVとFIVのいずれかに感染しても必ずしもすぐに死に至るとは限りません。以下に注意することで、比較的長生きすることができます。

1. 感染している猫を隔離することで、他の猫への感染を防ぎます
2. 感染している猫の生活の質を維持します
 - 動物病院で定期的に健康診断を受ける
 - 避妊や去勢を実施する
 - ストレスを感じさせない環境を整える
 - 栄養のよい食事を与える
 - 寄生虫を駆除する
3. 感染した猫が、複数の猫と飼育されている場合は、他の猫にもFeLVとFIVの検査を受けさせる

こんな時には
検査を
受けましょう

- FeLVワクチンを接種するとき
- 猫を飼い始めるとき
- 既に猫を飼っていて、新しく猫を迎えるとき
- 口内炎などの病気がなかなか治らないとき
- 外出、外出する猫と接触したりケンカした場合
- その他



猫白血病ウイルス (FeLV) 感染症

猫白血病ウイルス (FeLV) 感染症 (以下略して FeLV) は、一般に若い猫に発症することが多く、猫の主な死亡原因の1つである恐ろしい伝染病です。ただし感染した猫が全て発症するわけではありません。

感染経路

FeLVは血液、唾液、涙そして糞尿などに含まれ、感染経路が多く、うつりやすい伝染病です。猫同士が同じ食器を使って食事をしたり、お互いを舐め合うグルーミングやじゃれあいなど、FeLV陽性猫との長時間に及ぶ密接な接触によってうつります。感染の危険度は、猫の年齢や生活様式によって異なりますが、感染猫との同居、あるいは外でのケンカで感染します。FeLVは人間にはうつらず猫属にしか感染しません。

症状

FeLVに感染すると、はじめは一見健康そうに見えますが、次第に元気がなくなっていきます。免疫力が低下するので、あらゆる感染症に抵抗できない状態になり、口内炎、胃腸炎、鼻炎などがなかなか治らず、またリンパ腫や白血病など致命的な病気を伴い最後は死亡してしまいます。

治療法

現時点では、FeLV感染症の特別な治療法はなく、これらに感染したことがわかった場合には、発症を遅らせるための管理や、症状に応じた治療をしていくことになります。

予防法

FeLVについては、この病気を予防するためのワクチンがあるので、感染リスクのある猫はなるべく早く獣医師の先生に相談してみましょう。

仲良し猫ちゃんは危険がいっぱい!



感染率5~10%

(年齢・健康状態・調査母集団により異なります)

感染した猫との接触

- トイレの共用
- グルーミング
- 食器の共用
- 感染した母猫

感染

潜伏期2~4週間

潜伏期間は健康状態・年齢・遺伝により異なるので、まれに8週間という長期にわたって潜伏する場合もあります。

検査

検査

FeLV <陽性>

- 感染していても、すぐには発症しないこともあります。
- 生後1年未満の子猫は発症の確率がさらに高くなります。

耐過

FeLV <陰性>

免疫がウイルスに打ち勝ち、感染は終了します。

定期検査

FeLV持続感染

FeLVが骨髄に達し、1年~何年もかけて様々な病気が起こります。

他の猫へ感染の危険性

FeLV関連疾患

- 細菌感染
 - 口内炎
 - 上部気道の病気
 - リンパ腫
 - 白血病
 - 貧血
- などの深刻な臨床症状を示すか、死亡する場合があります。

FeLV

snap



猫免疫不全ウイルス (FIV) 感染症

猫免疫不全ウイルス (FIV) 感染症 (以下略してFIV) は、感染末期にはエイズ症状となるため猫エイズとも呼ばれます。一般的に年齢とともに増加し、3歳以上で外出可能な雄猫に特に多くみられる恐ろしい伝染病です。

感染経路

FIVは、ウイルスが主に血液や唾液に含まれ、FIV陽性猫とのケンカで噛まれたりするとうつります。感染の危険度は、猫の年齢や生活様式によって異なりますが、特に雄猫はケンカによりFIVに感染します。FIVは人間にはうつらず猫属にしか感染しません。

症状

FIVに感染すると、はじめは一見健康そうに見えますが、次第に元気がなくなっていきます。免疫力が低下するのであらゆる感染症に抵抗できない状態になり、口内炎、胃腸炎、鼻炎などがなかなか治らず、感染末期には人間のエイズのような症状が現れ、最後は死亡してしまいます。

治療法

現時点では、FIV感染症に特別な治療法はなく、これらに感染したことがわかった場合には、発症を遅らせるための管理や、症状に応じた治療をしていくこととなります。

予防法

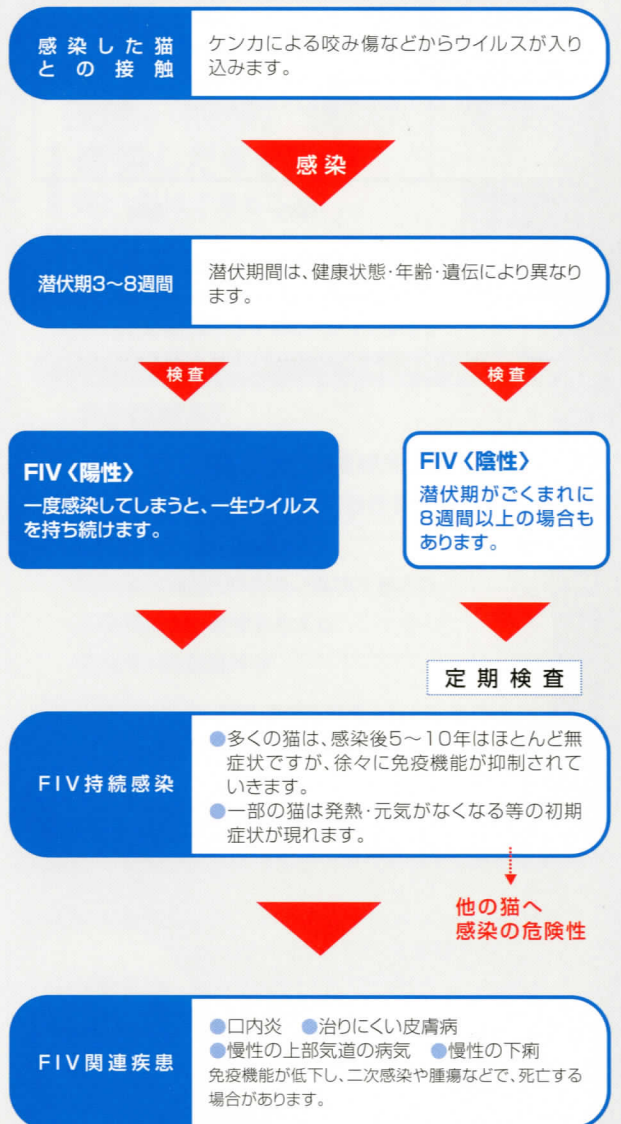
FIVを予防するためのワクチンが日本では承認されていません。陽性猫とのケンカで咬傷を受けるのを防ぐためにも避妊や去勢をし、屋内での飼育をおすすめします。

ケンカっばやい 猫ちゃんは要注意!



感染率 10~30%

(年齢・健康状態・調査母集団により異なります)



FIV

snapp

検査日	年	月	日
オーナー名	様		
猫の名前	ちゃん		

【 FeLV/FIV 診断結果 】

判定結果			
陰性	FeLV 抗原陽性	FIV 抗体陽性	FeLV 抗原および FIV 抗体陽性
FeLV	<input type="checkbox"/> 陽性	<input type="checkbox"/> 陰性	
FIV	<input type="checkbox"/> 陽性	<input type="checkbox"/> 陰性	

指示事項

.....

.....

.....

.....

.....

.....

動物病院名

定期的に 検査を受けましょう。



動物用医薬品

猫白血病ウイルス抗原/
猫免疫不全ウイルス抗体同時検査用キット

スナップ・FeLV/FIVコンボ

スナップコンボは、たったの10分で高精度の検査が行えます。

使いやすく、わかりやすい3つの特長

- 1 FeLV/FIVを同時に検査することができます。
- 2 精度が高いため、世界の獣医師に選ばれています。
- 3 検査結果が見やすく、判定が容易です。

■結果がわかりやすく見やすいので、判定が容易です。

判定結果			
陰性	FeLV 抗原陽性	FIV 抗体陽性	FeLV 抗原および FIV 抗体陽性

FeLV/FIV 陽性判定の場合

感染している可能性が高いため、さらに詳しい確認検査を行う等、獣医師の指示に従ってください。

FeLV/FIV 陰性判定の場合

感染している可能性は非常に低いと思われるが、引き続き定期検査をおすすめします。

※FeLVはすべての年齢で検査が可能です。

※FIVは母猫が感染している場合、6カ月齢未満の子猫では偽陽性となることがあります。

【製造販売元】

IDEXX アイデックス ラボラトリーズ株式会社
LABORATORIES 東京都三鷹市北野3-3-7

【提携】

MERIAL メリアル・ジャパン株式会社
東京都千代田区永田町2-14-2

【販売元】

ZENOAG 日本全薬工業株式会社
福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

SNAPは、米国およびその他の国における
米国IDEXX Laboratories, Inc.の商標または登録商標です。

S WDA 0801 ① 0801 300,000